

2025 年 1 月 6 日

各位

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
(コード: 167A、東証プライム)
代表取締役社長執行役員 中村 守孝
代表取締役副社長執行役員 稲葉 和彦

リョーサン菱洋ホールディングス 2025 年 年頭所感 「変化」なくして成長なし、挑戦への一歩を踏み出す年

エレクトロニクス商社のリョーサン菱洋ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：中村 守孝、代表取締役副社長執行役員：稲葉 和彦、以下「リョーサン菱洋ホールディングス」）は、2025 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



代表取締役社長執行役員 中村 守孝より

2024 年は、AI（人工知能）の活用や DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による国内半導体産業の基盤強化、自動車産業におけるビジネスモデルの変革など、環境変化がさらに加速した一年でした。何よりも中国をはじめとしたグローバルな競争構造の変化の中で、日本企業の迅速な対応の必要性が一気に高まった 1 年であったといえます。リョーサン菱洋グループは、「お客様のニーズにお応えし社会に必要とされる企業になる」を経営ビジョンに掲げ、昨年 4 月、新たな船出を切りました。

新たな成長機会の獲得を目指してスタートした一年ではありましたが、冒頭に述べたさまざまな変化から生じる厳しい現実に直面しています。これは外部要因だけに起因するものではなく、当社グループがこれまでのビジネス構造から脱却できず、お客様のニーズにお応えし切れていないという根本課題によるところが大きく、経営として強く認識し、猛省すべきであると考えます。

2025年は、この課題を解決すべく、中期計画のゴールである2028年度も見据えて、「従業員1人当たりの生産性向上」「お客様接点の拡大」「ニーズに応える独自ノウハウ」に注力してまいります。

「従業員1人当たりの生産性向上」については、営業・人事・ITの3つの改革テーマを掲げ、営業力の徹底的な強化、業務の分散と無駄の排除によるリソースの最適配置、さらに生産性向上をより高いレベルで実現するための新たな人事制度と中期IT投資計画の具体的な策定に着手し、2026年度からの実行につなげてまいります。

「お客様接点の拡大」については、経営統合後のトライアルとして立案したシナジーの仮説をベースに、両社の資源を最大限に有効活用した、新たなお客様との関係構築、提供価値の創造に努めてまいります。

「ニーズに応える独自ノウハウ」については、生成AIをはじめとする成長分野において、お客様やパートナー企業様との協業による新しい価値を生み出してまいります。

これらをグループ全体の力とするため、早期の事業会社統合を視野に入れて具体化を図るとともに、志を同じくするアライアンスパートナーとの新たな接点も積極的に創出してまいります。

経営統合後、リョーサン菱洋グループに対しては、お客様や仕入先様をはじめ、ステークホルダーの皆様から多くのご期待の声をいただいています。それにお応えすべく、従業員一同、行動指針である「貢献・協働・賞賛」にのっとり、課題に真摯に向き合いながら、業績の回復と成長に向けて努めてまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 代表取締役社長執行役員
菱洋エレクトロ株式会社 代表取締役社長執行役員
中村 守孝

代表取締役副社長執行役員 稲葉 和彦より

2024年は、リョーサンと菱洋エレクトロの統合を経て、グループとして新たな成長の兆しを感じるとともに、多くの挑戦に取り組んだ一年でした。しかしながら、外部環境や商流の変化への対応が十分でなくお客様の多様なニーズを的確に捉えきれなかった結果、当初の目標を達成するには至らず厳しい結果となりました。

こうした状況の背景には、営業基盤の整備や統合によって得られた新たなお客様との接点の活用が遅れたこと、さらに、お客様のニーズに応える独自ノウハウの確立が十分でなかったことなど、当社グループ内部の課題が大きく影響していると考えます。

2025年は、リョーサン菱洋グループとして、昨年の取り組みを基盤に、さらなるシナジーの拡充を目指し、お客様への価値提供に全力を尽くしてまいります。また、昨年浮き彫りとなった課題に最優先で向き合い、営業・人事・ITという3つの改革に着手し、組織全体の改善を図ることに注力いたします。

昨年、当社グループでは1000件を超える新規シナジー案件が創出され、新たな商材提案やお客様との接点拡大を通じて、双方の強みを活かした協力体制の基礎を築くことができました。さらに、両社のノウハウの相互活用を促進するための人材交流もすでに始まっています。本年は、シナジー発現に向けた取り組みを昨年よりも一段と加速させ、営業コミュニケーションの強化と積極的な情報発信を通じて、新たなお客様との接点を創出してまいります。また、お客様のニーズを深く理解し、それに基づいた最適な提案を行うことで、お客様の信頼と満足を築いていく所存です。

経営統合を通じて新たな仲間と出会い、事業領域が広がる一方で、課題や反省を多く残した2024年の経験を糧に、さらなる成長と変革に向けて邁進してまいります。

引き続き、リョーサン菱洋グループの一員として、対話を重ね、新たな価値の創造とシナジーの実現に努めてまいります。変化を受け入れ、挑戦を重ねることで、お客様や社会との信頼を深め、共に新たな未来を切り拓いてまいります。

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 代表取締役副社長執行役員
株式会社リョーサン 代表取締役社長執行役員
稲葉 和彦

【本件に関するお問い合わせ先】

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社

企画本部 広報部

URL : <https://www.rr-hds.co.jp>

TEL : 03-3546-5003

Mail : pr@rr-hds.co.jp